

令和2年度経営発達支援事業 第1回事業評価検討委員会 議事録

日 時 令和3年4月16日（金） 14:00～15:40

場 所 サンピア・アキ4階 鳳凰の間

出席者 出席名簿のとおり

議事録作成者 檜山（広島安芸商工会）

1. 開会挨拶・・・広島東商工会 金子会長

当時事業も5年目となり、当初は不安があったが、関係者の皆様の力で成果も出てきている。コロナ禍でいろいろな分野で変化しなさいというメッセージだとも考えられる。令和3年度は5か年計画の最終年度となり、引き続き3商工会が一体となって努力するので、忌憚のないご意見をお願いします。

2. 出席者紹介・・・星野局長 広島東商工会

江川委員長より

2年ぶりの会場へお集まりいただいたの開催となります。コロナ禍で、各事業者においては事業を整理する機会ととらえる必要があると思います。また、コロナ禍で多くの会議がリモート開催や中止となる中で、対面で思いを伝えることは有意義だと思います。この後、事業評価検討委員会の目的を説明していただいた。

3. 会議内容

セクション発表

江川委員長より、進行として3セッションずつの発表、評価の決定を行っていくことを説明。

#### ◎地域経済動向調査セッション・・・檜山

セッション活動の内容、目的を説明する。事業報告書の記載に基づき報告を実施、参考資料として財務分析報告書、中小企業景況調査報告書を添付、内容について説明を行った。

江川委員長からの事前質問「P1の1は、直近の地域経済活動傾向なので、2～3年前のマーケット水準は不向きかもしれません。行政機関から得られる資料が一番有用だと思います。」について「行政資料の活用をするようにしたい。行政の皆様のご協力をお願いします」との回答を行った。

#### ◎経営状況の分析に関するセッション・・・大形

まず、セッションの活動内容、目的を説明した。コロナの影響で相談が増えたことから啓発の機会は多かったが、同じくコロナの影響でセミナーへの出席者は少なかった。啓発⇒計画作成セミナーの間に半数になった。事業4年目ということもあり参加人数が減っている。セッションでは、コロナ禍で変革を図るために経営革新を推進することで件数を増やせないかなどを協議・検討した。

江川委員長の質問「経営状況分析のセミナーは、新型コロナウイルスの影響で困難であったと思います。ヒヤリング、分析を行っていきたい。」との回答を行った。

#### ◎事業計画策定支援に関するセッション・・・大元

総合評価はC、よかった点、悪かった点、課題について、資料に基づいて説明した。広島県 和田課長からのご意見として、1つ目である「WEBセミナー等の感染に配慮した取り組みの推進」。

もう一つは「支援事業の成功事例をもっと地域へアピールし、事業計画策定に繋げて欲しい」につ

いて「売上増加事業者 21 者について、創業 4 件、補助金申請が約半数と内訳を説明、成功事例をチラシ等で公表していきたい」と回答した。江川委員長からは、今は悪化している事業者への支援に特化してもよいのではないかとの意見があった。

これまでの 3 セクションの評価については、各セクションの評価どおりで承認された。

#### ◎事業計画策定後の実施支援に関するセクション・・・池田

事業報告書に基づき説明。フォローアップ数が少ない、事業計画策定セクションと連携して掘り起こしを行いたい。江川委員長からの質問「事業者の方が直接的な面談を断るケースもあり、大変難しい状況と考えます。フォローアップは重要ですが、時世を検討する必要あります。」について「オンラインの活用、LINE 等の活用により推進していきたい」と回答した。

#### ◎需要動向調査に関するセクション・・・檜山

事業報告書に基づき説明。調査の対象業種は主に小売サービス業等に限られる。コロナ禍で新たな事業展開を行う際の調査にも積極的に活用していきたい。

#### ◎新たな需要の動向に寄与する事業セクション・・・実谷

良かった点、悪かった点を事業報告書に基づき説明。江川委員長からの「商談会や展示会の中止を受けて厳しい状態が続いているため、バーチャル展示会など新たな検討が必要です」との事前質問に対して、「オンライン商談会やバーチャル展示会、SNS・プレスリリースの活用、重要性が増しているパンフレット・企画書・動画等の活用について、専門家を活用して支援していく」と回答した。

また、『海田さつまの素』の商品化に至るまでを説明。「商品は完成したがまだ道半ばであり、この商品を活用して、飲食店がメニューを継続的に提供するようになることが目標。現在 2 社がメニュー提供している。」ことを加えて説明した。

そのほか、江川委員長より、「地域の特産品は必ずいわれがあってオリジナルである。いわれをしっかりと PR するのがよいのではないか」との意見があった。また、竹中会長より開発期間について再度質問があり、実谷セクションリーダーより実質の開発期間は 3 年であると回答。

江川委員長より「他地域でも取り組みたいと思える内容であり、どんどん PR してください。」、また、和田委員から「オンライン商談会をすでに実施している商工会があったので、横のつながりを使って参考に取り組んでいただけるとよいと思います。」との提言があった。

以上 3 セクションについて、事業報告書どおりの評価で承認された。

#### ◎地域経済の活性化セクション・・・岩田

当セクションについては目標をおおむね達成できた。創業塾が何をしているかわからないという声を受けて、チラシに事例を紹介するようにした。

#### ◎他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報共有セクション・・・岩田

事業報告書に基づき説明。R3 年度の対応策として、ZOOM 活用や少人数での開催を検討。他の支援機関との連携を図り、事業者支援につなげていきたい。

◎経営指導員の資質向上セクション・・・富田

事業報告書に基づき説明。

◎事業評価検討委員会セクション・・・成瀬

事業報告書に基づき説明。

江川委員長より、「地域活性化はこれまでの活動の中で、良い部分、悪い部分がわかってきていると思われるので、それを踏まえて対応してほしい。また、こんな時だからこそ商工会が力を発揮できる良い機会なので頑張してほしい。」との意見があった。

地域経済の活性化セクションの評価について、江川委員長より「地域活性化は全体で 100%を超えているので、総合評価 A で良いのでは」との発言があった。倉増副会長より、「コロナ禍で面談しないでと言われていた状況で評価すること自体いかなものか。みんな良く頑張ってくれたので 1 ランクずつ上げて良いのでは。」との意見があった。この意見に対して江川委員長から、「委員会では、コロナ禍だからではなく、事業の振り返りをプラスに捉えてもらうために行うものなので、評価で活動の良し悪しを決めるものではない」と説明した。和田委員からは「江川委員長同様、前向きな活動につなげるよう役立ててもらいたい。評価については総合的に考えると A で良いのでは」との発言があった。その他委員からも意見を聞き、評価として、荒川委員、脇本委員は A、本家委員、谷口委員からは自己評価のままの B とのことであった。最終評価は多数決で A とした。

その他のセクションの評価については報告書どおりで承認された。

以上で全セクションの報告を修了した。最終評価を 2 週間以内にまとめ、確認については江川委員

長へ一任となった。

#### 4. その他意見

各委員から次の意見を受けた。

和田委員      コロナ禍で頑張っている。トレンドを捉えて今後も頑張ってください。

荒川委員      コロナ禍はこれまでのやり方を見直す機会と考えられる。今後、一緒にそれを見つ  
けられると良いと思う。

脇本委員      コロナで当たり前が当たり前でなくなっている。売上が伸びている業種もある。新  
しい仕掛けをみんなで考えていきたい。

本家委員      平成 30 年の豪雨災害、今回のコロナで厳しい状況が続いている。新しいやり方を見  
つけていきたいのでよろしくお願いします。

谷口委員      一緒にやっていく思いである。私たちも努力していきたい。

江川委員長    企業の存在意義を改めて見つめるところから始める必要がある。そのサポートを指  
導員にはお願いしたい。期待しています。

以上で事業報告について終了した。次に会計について、実谷課長より決算報告を行った。予算上限

が削減されたことにより、当初予定していた予算から削減を余儀なくされたこと、承認が遅くスタートが遅れたこととコロナで中止や十分に実施できなかった事業があったこと、また、コロナ補助金など他の補助金を活用したこともあり、結果として予算に対して未達であったことを説明した。

江川委員長より、会長、副会長へ意見が求められた。

金子会長      コロナで人が動く事業について、成果が出ていない。セミナー参加者を増やすために、セミナー後に懇親会をするなど、親睦の機会があれば参加者が増えるのではないかな。

竹中会長      コロナの中、よく頑張ってくれている。個人的にはすべて A 評価を与えたい。

倉増副会長    先ほどから言っているように、よく頑張ってくれている。

最後に、近藤局長より、「日頃よりご協力ありがとうございます。広島県のコロナ補助金はとても助かりました。今年度をもって 5 カ年計画が終わります。これまで合同で実施してきた中で、各商工会で独自に行いたい活動も多く出てきたことから、次回の経営発達支援計画は、3 商工会それぞれで計画を策定していくことになりましたのでお知らせいたします。」

以上で議事が終了した。

5. 閉会挨拶・・・府中町商工会 竹中会長

長時間に渡りご検討頂いた各委員の方々に、感謝を述べた後、今回賜った評価を今後の事業の発展に繋げる決意と、令和3年度の事業が各々3町の実り多き年となるよう、努力していく事を誓い、閉会のあいさつとした。

最後に星野局長より次回10月開催を伝えて閉会した。